

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構

神奈川県立 精神医療センター



病院HPはこちら▶



精神医療センターの概要

「神奈川県立精神医療センター」は、2014年12月に芹香病院とせりがや病院を統合して新しく生まれ変わった精神科の専門医療機関です。

精神科救急医療、思春期医療を実施するほか、医療観察法医療、難治なうつ病等を対象とするストレスケア医療、アルコールや薬物等への依存症医療等の専門的な医療を提供するとともに、もの忘れ外来を開設するなど、神奈川県の精神科医療の中心的役割を果たしています。

基本理念

私たちは、こころの健康を支え、質の高い精神医療を提供します。

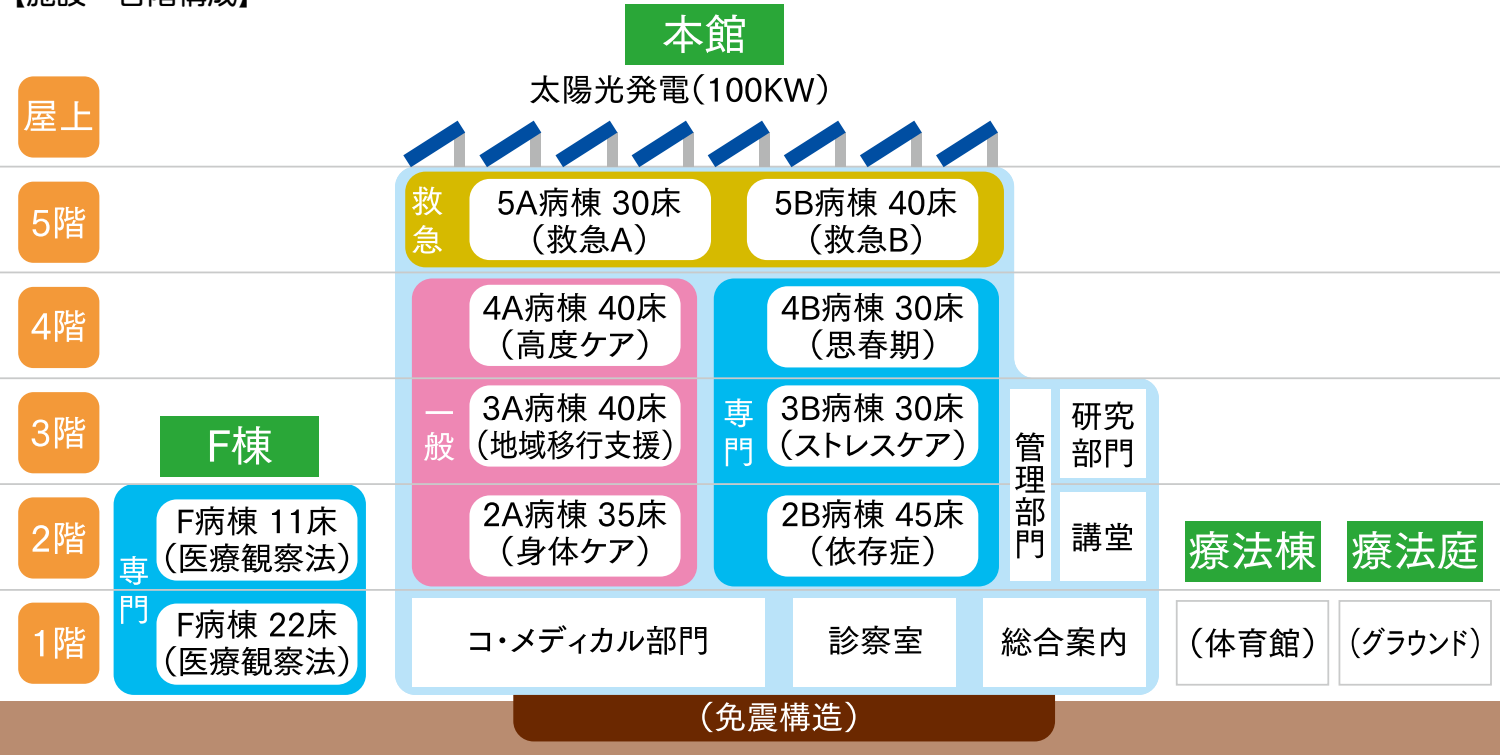
基本方針

- 1. 神奈川県精神科中核病院として、高度な医療を提供します。
- 2. 患者さんの思いを大切に、患者中心の医療を目指します。
- 3. みんなのちからで、安全な医療に取り組みます。
- 4. 地域との連携を深め、患者さんの社会復帰を支援します。
- 5. 県立病院として健全な経営を目指します。

沿革

- 1929年 県立芹香院診療開始
- 1963年 県立せりがや園診療開始
- 1990年 県立精神医療センター(芹香病院・せりがや病院)に組織改正
- 1996年 精神科救急医療開始
- 2002年 精神科救急医療24時間体制開始
- 2003年 精神科救急病棟開設
- 2006年 SMARPP(せりがや覚せい剤再発防止プログラム)開始
- 2008年 ストレスケア病棟開設
- 2010年 一般地方独立行政法人に移行
- 2012年 医療観察法病棟(F病棟)開設
- 2014年 県立精神医療センター本館開設、芹香病院・せりがや病院統合、思春期病棟開設
- 2017年 院内保育施設竣工
もの忘れ外来開設
- 2020年 「思春期インターネット・ゲーム依存症専門外来」開設
- 2021年 連携サポートセンターを開設
- 2025年 連携サポートセンターを患者サポートセンターに組織改編

【施設・各階構成】



受診について

初めて受診される方

スムーズに診療が受けられるよう、事前に電話あるいはホームページから予約のうえ受診してください。

診 療 日	○一 般 精 神：月曜日～金曜日（祝日、年末年始等除く。以下同じ） ○ストレスケア：火・水・木・金曜日の午後 ○思 春 期：月・火・木・金曜日の午前 ○依 存 症：月曜日～金曜日 ○もの忘れ外来：木・金曜日 *担当科によって日にち、予約枠数、予約時間に違いがあります。
診 療 受 付 時 間	平日午前8時30分～午後5時
ご用意いただくもの	○健康保険証及び各種医療証等 ○紹介状（診療情報提供書） 当センター以外の心療内科・精神科等を受診されたことのある方、現在通院している医療機関から当センターの紹介を受けた方は、受診時に紹介状をお持ちください。 ○お薬手帳 ※保険証につきましては、マイナンバーを保険証として活用できます。
電話による申し込み	平日午前8時30分～午後5時 045-822-0241（代表） 福祉医療相談科 ホームページからも一般精神のみ予約ができます。

再診の方

原則として予約制です。
診察時に担当医と、次回診察の日時を決めてください。
当センターに受診されている方で、受診予定日以外に受診が必要な場合は、必ず外来に電話をして相談してください。

予約の変更について

予約の変更は、平日午後2時～午後5時までの間にお電話ください。



患者サポートセンター

患者サポートセンターは、地域連携科、患者相談室、福祉医療相談科の3つの部署で成り立ちます。医師、看護師、ソーシャルワーカー、事務員で構成され、複数の領域の専門職が協働しながら、患者さんの療養生活や地域生活をサポートしています。

◆地域連携科

地域の医療機関や福祉施設、行政機関と連携し、地域全体の支援体制づくりに尽力します。また、地域関係者の見学などの調整を行い、精神科医療の普及啓発に努めます。

◆患者相談室

患者さんやご家族の不安や疑問に寄り添い、安心して医療を受けられるように、専任の相談員を配置した相談室を設けています。センター内の適切な部署や職種と連携を図りながらサポートいたします。

◆福祉医療相談科

病気や障害によって生じる様々な生活上の課題に対して、ソーシャルワーカーが社会福祉の立場から相談にのり、入退院の支援をしています。地域の関係機関とも連携を図り、安全安心な患者さんの地域生活に向けた支援をしています。

コ・メディカル部門

◆心理科

患者さんがご自身の傾向について理解するため、またどう付き合っていくのか考えていくために、心理検査・集団による治療プログラム・心理療法等の支援を行っています。

◆放射線技術科

エックス線撮影検査、CT検査を行っています。また、地域の医療機関からの依頼に応じてCT（80列CT装置）を用いた単純撮影の依頼検査を承っています。

◆薬剤科

医薬品の調剤、適正使用、品質管理、供給などを行っています。また、薬剤管理指導や各種プログラムにおいて患者さんに対し薬の話をしています。

◆検査科

心電図検査、脳波検査のほか各種検体検査を行っています。

◆デイ・ケア科

当センターを退院された方や外来治療中の方を対象に「精神科デイケア」、「依存症デイケア」、「もの忘れリハ」の3つのデイケアを提供しており、ご自身に合ったものを選んでいただくことができます。

◆作業療法科

生活のしづらさがある入院患者さんに対し社会適応と自立を図るために、各種作業を通して、指導・援助を行っています。

◆栄養管理科

患者さん個人々人にあった栄養管理と楽しんでいただける食事提供を心がけています。精神科治療の一環として健康維持のための、食事面からのサポートを多職種で協力して行っています。

◆医療安全推進室

患者さんやご家族が安心して医療を受けていただけるよう、医療事故と院内感染の防止に取り組んでいます。

心理検査



作業療法作品



外来診療

外来部門では一般精神科とともに、思春期・依存症・もの忘れなどの各専門外来を設置し、一人ひとりの患者さんの状態に合わせた治療を行っています。

一般精神科外来

様々なメンタルヘルス不調の診察をいたします。通院される患者さんやご家族が、安心して診療を受けられる治療環境の提供に努めています。

◆ストレスケア外来

ストレスケア病棟への入院を希望されたうつ病・躁うつ病・適応障害等の患者さんの初回診察を担当しています。患者さんそれぞれの状況に応じた、心あたたかい医療が提供できるように心がけています。

専門外来

◆思春期外来

12歳～18歳（中学生から高校生年代）のメンタルヘルス不調を診察いたします。子どもたちが学校や家庭など社会で過ごすことができるよう、ご家族とともに今、これからの生活を一緒に考えています。

◆思春期・ゲーム行動症外来

12歳～18歳（中学生から高校生時代）のゲームがコントロールできずに困っている方を診察します。背景にある発達特性や生活環境を評価しながらご家族とともに回復を目指します。

◆依存症外来

アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症とそれによるメンタルヘルス不調を診察いたします。ご本人に対する診療援助だけでなく、相談・自助グループとの連携など様々な取組みを通し、患者さんが回復できるように支援しています。

◆もの忘れ外来

軽度な「もの忘れ」は加齢とともに見られますが、認知症のはじまりである可能性もあります。「もの忘れ」の原因を画像診断（CT）などを用いて明らかにし、早期に発見することで予防対策につなげることができます。



外来待合・総合案内



診察室

訪問看護

訪問看護は令和7年度から外来看護科と一体となりました。患者サポートセンターと協働して当センターに通院中の方を対象に、看護師等がご自宅に伺ってより快適な生活を送るためのサポートを行っています。在宅治療の一環として主治医の治療方針のもと、皆さんからのご要望を取り入れ、個々の状況に応じた看護プランを作成します。

MEMO

入院診療(323床)

一般入院診療

経過の長い統合失調症や躁うつ病の入院患者さんへの治療及び地域生活へ移行していくための支援を行っています。

- ◆高度ケア病棟 (4 A病棟：40床)
- ◆地域移行支援病棟 (3 A病棟：40床)
- ◆身体ケア病棟 (2 A病棟：35床)



病棟カンファレンス

専門入院診療



保護室

◆精神科救急病棟 (5 A・5 B病棟：計70床)

神奈川県精神科救急医療システム基幹病院としての役割を担う救急部門には、救急A・救急Bの2つの病棟があります。精神科救急医療システム入院や外来通院中の患者さんの急性期治療を行っています。



学習室

◆思春期病棟 (4 B病棟：30床)

12歳～18歳(中学生から高校生年代)の患者さんの治療を行い、全室個室となっています。専用の外部運動場を備え、建物から出ることなく青空の下で軽い運動が可能です。また、神奈川県立横浜南支援学校芹が谷学級が病棟内に設置され、中学生を対象に学習室にて授業を行っています。



プログラム作品

◆ストレスケア病棟 (3 B病棟：30床)

気分障害の方を治療するための開放病棟で、全室個室となっています。病棟内では様々なプログラムを実施しており、患者さんが自分の特性に気づき、強みを生かせるような取り組みを行っています。ストレスとうまく付き合えるよう、患者さんの社会復帰を支援しています。



治療テキスト

◆依存症病棟 (2 B病棟：45床)

アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症と関連するメンタルヘルス不調を対象に治療を行っています。そのひとつとして、各依存症の治療プログラムを医師・看護師・作業療法士・精神保健福祉士・臨床心理士が連携して行い、それぞれの患者さんの生きづらさに寄り添いながら地域で生活することを目指して支援を行っています。



外観

◆医療観察法病棟 (F病棟：33床)

「医療観察法」に基づく治療を行う病棟として、2012年11月に開設しました。「であい・むきあい・ささえあい」をコンセプトに、多職種チームで対象者の治療開始から社会復帰までを支援しています。

専門治療

◆修正型通電療法（m-ECT）

薬物療法と並んで、急性期及び難治の精神病状態・うつ状態等に有効な治療です。当センターでは全例について麻酔科医による人工呼吸管理を行うようにしており、十分な安全性を確保しています。現在は年間770件程度施行しています。

◆クロザピン治療

クロザピン（クロザリル®）は、治療抵抗性統合失調症に対する有効性が確立されている唯一の薬剤であり、一定の条件を満たした医療機関においてのみ導入が可能です。当センターでは、他の医療機関からの紹介患者を含めて約200例の導入実績があります。

◆反復経頭蓋磁気刺激（rTMS）療法

治療抵抗性うつ病の治療として、米国では2008年より認可を受けている治療法です。当センターでは臨床研究として10年以上取り組んできましたが、日本でも2019年6月に保険診療として認められて以降、保険診療で実施しております。薬物療法によって十分な効果が得られないうつ病の方が対象となります。



rTMS療法

療養環境

◆入院環境

個室を充実させ、4床室もプライバシーに配慮した設備を備えています。明るいデイルームやプログラム治療に活用できる集団療法室が各病棟にあります。



4床室

◆プログラム等専用室

音響室、調理室、木工室、パソコン室などを備え、デイケアや作業療法などで多様なプログラムを提供しています。



調理室

◆ラウンジ

外来待合横にラウンジを設置しています。ご来院の患者さんやお見舞いのご家族の方に幅広くご利用いただけます。



ラウンジ

◆グラウンド・体育館

敷地内にソフトボールやサッカーができるグラウンドと、天候に左右されずバレーボールやバドミントンなどができる体育館があります。



体育館

交通案内



■車でのご来院

【横浜横須賀道路】「別所」インター下車

出口交差点を右折、芹が谷中学校校入口の交差点を右折後、約700m

■電車・バスでのご来院

【京浜急行・市営地下鉄】「上大岡駅」下車

(11番バス乗り場) 芹が谷方面バスにて15分「芹が谷」下車、徒歩8分

【JR】「戸塚駅」下車

「東口」より井土ヶ谷經由横浜駅東口行きバスにて25分「六ツ川四丁目」下車、徒歩5分

【JR】「東戸塚駅」下車

「東口」より井土ヶ谷下町行き又は横浜パークタウン行きバスにて10分「六ツ川四丁目」下車、徒歩5分又は芹が谷經由上大岡駅行きバスにて15分「芹が谷」下車、徒歩8分

【京浜急行】「弘明寺駅」下車

「弘明寺口」より戸塚駅東口行き又は東戸塚駅東口行きバスにて10分「六ツ川四丁目」下車、徒歩5分



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター

〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-5-1
TEL 045-822-0241(代) FAX 045-822-0242
<https://seishin.kanagawa-pho.jp/>